



白方区 自治会の皆さんと 住民原子力懇談会を実施しました

2月22日 白方区の13名の方に参加していただき、住民原子力懇談会を実施しました。

日本原子力研究開発機構J-PARCセンターの施設を見学し、研究や安全対策に関する活発な意見交換が行われました。村に対しては、広域避難計画に関する質問や意見が多く出されました。

<住民原子力懇談会の目的>

住民原子力懇談会は、住民・原子力事業所・行政が施設見学や意見交換を行うことにより、相互理解を深め、原子力安全行政の充実及び原子力安全対策の拡充に寄与することを目的に、平成20年度から行っているものです。

白方区の住民原子力懇談会は、平成20年度の第1回から7年ぶりに行われました。前回は東海第二発電所が対象でしたが、今回は最先端の研究を行っているJ-PARCセンターでした。研究への期待とともに、多くの見学者が訪れる施設の安全対策、環境整備について意見がでました。

懇談会では、広域避難計画への意見や質問が多く出され、またJ-PARCセンターの今後の研究へ期待するという意見も出ました。

なお、懇談会には、環境省原子力規制委員会東海・大洗原子力規制事務所の所長にも同席していただき、関連する質問に答えていただきました。



<白方区 住民原子力懇談会 実施概要>

平成29年2月22日（水）13時30分～16時30分

見学会 13時30分～15時30分

J-PARCセンター 研究棟会議室で概要説明
現場見学

物質・生命科学実験施設（MLF）
ニュートリノ実験施設

懇談会 15時40分～16時40分

いばらき量子ビーム研究センター 1階 会議室